

2025

郵便福祉の現状

Yusei Fukushi Disclosure

## はじめに

平素より、皆さまには格別のご愛顧をいただき厚く御礼申し上げます。郵政福祉は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当法人に対するご理解を一層深めていただくために、主な事業及び財務内容などについて、わかりやすくまとめた「2025 郵政福祉の現状」を作成いたしました。是非ご一読いただきますとともに今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年7月 一般財団法人 郵政福祉



～郵政福祉キャッチフレーズ～

## 助け合いのココロを『かたち』に



一般財団法人郵政福祉

### 郵政福祉 ロゴマークについて

郵政事業を赤いマル(左円部分)、日本郵政グループ社員等の皆さまを青いマル(右円部分)、当法人を頭文字のYに見たて、「日本郵政グループ社員等の福祉の増進と郵政事業の発展に寄与する」という当法人の使命を象徴化したものです。

### 法人概要(2025年3月31日現在)

名称	一般財団法人郵政福祉	基本財産	10億80万円
設立	1954年10月1日	従業員数	192人

本誌は、保険業法等の一部を改正する法律(平成17年法律第38号)において読み替えて準用する保険業法第111条及び認可特定保険業者等に関する命令第34条に基づき作成したディスクロージャー資料です。

## 2025 CONTENTS

トップメッセージ	1
2024年度郵政福祉トピックス	2

### 最新の概況

2024年度における保険商品の概況	6
資産の長期的・安定的な運用について	8
収益性と健全性について	9

### 経営体制について

コーポレートガバナンスについての取り組み	10
内部統制システムの整備	10
コンプライアンス(法令遵守)の推進	11
カスタマーハラスメントに対する基本方針	11
教育・研修の推進	12
勧誘方針	13
個人情報保護への取り組み	13
反社会的勢力への対応	14
リスク管理体制	14
ディスクロージャーの充実	16
お客さまの声を経営に活かすための取り組み	18

### 保険商品のご案内

保険商品の種類	20
ご契約のお申し込みから成立まで	22
保険金等のご請求から受け取りまで	23
ご加入者さまへのご案内状	24

### 業績データ

業績データ目次	25
〈特定保険業データ〉	26
〈特定保険業外事業データ〉	39
〈法人全体データ(2024年度決算書)〉	40

### 法人情報

役員・評議員	47
従業員の状況	47
歴史と沿革	48
事業所一覧	49

※数値はすべて単位未満切り捨てにしています。

※%は表示未満を四捨五入しています。

この端数処理により、合計が100%にならないことがあります。

# 健全経営を維持しつつ お客さまサービスの向上に取り組んでいます

ごあいさつ

**郵** 政福祉は、1954年設立の郵政互助会を存続法人として他2財団法人と統合し、2005年10月に設立されました。以来、日本郵政グループで働く皆さまの豊かな暮らしの応援と安心の提供を目的に、退職給付保険、災害保険及び社員援護保険の3保険商品を中心としたサービスを提供しています。

基幹商品である退職給付保険は、多くの方にご理解いただき、2024年度末では、17万3千人の社員の皆さまにご加入いただいています。2024年度は、退職された7千人以上の皆さまに208億円の退職給付金をお支払いいたしました。

災害保険は、火災、風水雪害、震災等に備える保険ですが、17万人を超える皆さまにご加入いただいております。2024年度は9億円あまりの保険金をお支払いいたしました。

社員援護保険は、死亡・障害等に備える保険ですが、引き続き11万人を超える皆さまにご加入いただいております。

このように多くの皆さまに支えられて順調に事業を展開することができました。改めまして皆さまのご愛顧に厚く御礼申し上げます。

事業経営にあたっては、内部統制(ガバナンス)の充実を図るとともに、お預かりした保険料についてはより安全性を重視した資産運用に心掛け、財政基盤の強化に努めています。2024年度においては、金利の上昇や賃金・物価の上昇など、不安定な運用環境下にありましたが、金融資産運用、不動産運用ともに安定した収益の確保に努めた結果、事業損益は引き続き黒字となり、堅実な財政基盤を確保できています。

郵政福祉では、今後とも健全経営を維持しつつ、日本郵政グループで働く皆さまにより良いサービスを提供できるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。引き続き、皆さまのあたたかいご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



郵政福祉 理事長  
渡邊 伸司

## 経営理念

一般財団法人郵政福祉は、日本郵政グループ社員等の皆さまの豊かな暮らしの応援と安心の提供に努めます。

## 行動指針

### 1 お客さま第一主義

私たちは、日本郵政グループ社員等の皆さまへの奉仕を第一とする精神をすべての業務の原点に置き、常に質の高いサービスの提供に努めます。

### 2 法令の遵守

私たちは、高い倫理観を持つことを誇りに、すべての業務においてコンプライアンスを徹底し、社会的責任を果たします。

### 3 人間の尊重

私たちは、すべての業務に関わる人の尊厳と基本的人権を守り、そのことにより事業と人の持続的成長を図ります。

### 4 社会への貢献

私たちは、環境に配慮し、事業活動の中で積極的に社会に貢献します。



# 2024年度郵政福祉トピックス

2024年度に起きたトピックスをまとめました。郵政福祉では令和6年能登半島地震により被災されたご契約者さまへの迅速な保険金支払い対応のほか、保険3商品のWEB申込フォームの開設やLINEによるメッセージ配信等のデジタル化の推進に取り組みました。

## 世の中のトピックス

円相場、34年ぶりに1ドル160円台に下落

4月

経済安全保障の新たな法(適性評価の実施)が成立  
離婚後の「共同親権」導入を含む改正民法が成立

5月

認証不正問題で自動車メーカー5社に立入検査  
「日本版DBS」を導入するための新法が成立

6月



20年ぶりとなる新紙幣が発行  
第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)開催

7月

岸田首相が退陣表明  
パリ2024パラリンピック競技大会開催

8月



大リーグ大谷翔平選手が史上初の「50-50」を達成  
自民党総裁に石破茂氏、首相に就任

9月

東京都で全国初のカスハラ防止条例が成立  
ノーベル平和賞に日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)

10月

プロ野球DeNAが26年ぶり日本一  
ユネスコの評価機関が日本酒や焼酎などの「伝統的造り」を無形文化遺産に登録するよう勧告

11月



「マイナ保険証」への移行が本格化  
「今年の漢字」に「金」が選出

12月

日銀が金融政策決定会合で政策金利を0.50%に引き上げることを決定  
米ゴールデングローブ賞でドラマ「SHOGUN 将軍」が計4部門を受賞

1月



コメ価格高騰のため、農林水産省が政府備蓄米を放出すると発表  
北海道南東部で記録的大雪

2月

全国各地で大規模な山林火災が相次いで発生  
東京大空襲から80年が経過

3月

## 郵政福祉のトピックス

保険3商品の新規WEB申込サービスの開始  
郵政福祉公式LINEの開設

ゆうイングご加入者さま向けキャンペーン実施

勤怠管理システムの導入によるデジタル化の推進

新規提携施設・サービスの導入に向けたご意見受付フォームの開設

各自の判断で仕事に適した服装にするセルフビズの導入

## Topics

## 1

## 新規WEB申込サービスの開始

デジタル化による、お客さまの利便性向上とペーパーレス化の促進に向けて、2024年4月1日に、郵政福祉ホームページから保険3商品（退職給付保険、災害保険、社員援護保険）の新規加入申込手続きを行っていただけるサービスを開始しました。

業務多忙の中、対面や郵送でのやり取りは負担というお客さまや、保険の提案は受けたが、じっくり検討して決めたいというお客さまに大変好評をいただいています。今後もより一層、お客さまが使いやすいサービスを目指して適宜バージョンアップをしていくこととしています。



## Topics

## 2

ゆうイングご加入者さま向け  
キャンペーンの実施

ゆうイングご加入者さま向けに、宿泊施設やスポーツクラブ、映画館等の日々の生活や旅行でご利用いただけるサービスである「ゆうイングプレミアムサービス」を2018年から開始し、本日まで多くのご加入者さまにご利用いただいています。

2024年度については、従来の映画館や宿泊施設だけでなく新たに某有名テーマパークを割引価格でご利用いただける人気メニューを追加し、2024年7月から2025年3月まで実施いたしました。2025年度も引き続き、お客さまニーズに沿ったキャンペーンを実施します。



Topics

3

## 郵政福祉LINE公式アカウントの開設

2024年4月1日に、郵政福祉LINE公式アカウントを開設し、郵政福祉ホームページや情報誌『RinRin』、メールマガジン等で案内を行い、2025年5月末時点で友だち登録者数は1万人を到達しました。

災害保険ご契約者さま向けに、大規模な自然災害が起こった際の保険金請求案内情報をはじめ、情報誌『RinRin』の発行案内、ガソリンカード価格のお知らせや、ご希望の声が多かった「提携施設利用券」の電子化を実現しました。

また、2024年7月～8月には、友だち限定のキャンペーンを実施しました。今後も、お客さまに寄り添った機能の拡張やサービスを提供してまいります。



Topics

4

## 勤怠管理のデジタル化

2024年10月に勤怠管理システム(アプリ)を導入し、出退勤管理に加えて休暇経理業務、年末調整業務についてもデジタル化をすることで、業務の効率化とペーパーレス化を実現しました。

今後は、その他の業務についても効率化とペーパーレス化を目指して、順次デジタル化の推進を図っていくことといたします。

Topics

5

## 東北地方本部のお客さまサービスの 取り組みと組織体制について

### 職員の成長とお客さまの満足度を 高めるために

東北地方本部長 藤井 浩

#### 1 東北地方本部の特徴や雰囲気、東北地方本部ならではの特色について教えてください。

東北地方本部は、15人の職員で構成されていますが、全国の約2割の面積を占める広大な地域をカバーするために、青森県と秋田県に駐在する職員を配置しています。また、昨年新規採用になった若手職員から60歳代の職員まで幅広い職員が活躍しています。

特色としては、職場の福利厚生面等が充実しているためか、心理的に安心して頑張ることができる職場環境、営業環境であるところです。その結果、若手職員も中堅職員も成長を実感できている職場となっているのではないのでしょうか。

#### 2 具体的にはどのような点が成長しているのでしょうか？

世代ごとにワーク・ライフ・バランスは違うと思いますが、若手職員は保険商品における専門知識の向上に努めるだけではなく、日本郵政グループ社員の皆さまとお話しする機会をいただくことで、コミュニケーション能力が向上するほか、自己成長のための投資をよくしております。また、ベテラン職員も常にお客さまと接していることから、対人能力、対自己能力が成長し続けていると実感しています。そのため、あらゆる世代で仕事の満足度が高く、成長につながっているように感じます。



#### 3 具体的に、年間計画、営業体制の策定について教えてください。

年度当初において、年間の訪問計画を策定しますが、最低でも2年に1回は所属局所に訪問する計画となっています。したがって、事務職員を含めた「全員営業体制」でなければ、計画を実行することができません。また、お客さまにも、郵政福祉の目的(日本郵政グループ社員の福祉の増進等)をご理解いただいていないと計画実施が困難になってしまいます。その点、当財団は70年を超える実績があるわけですから、お客さまの信頼も十分に得ています。



#### 4 地方本部において、現状の課題と取り組み方策について教えてください。

東北地方本部に限ったことではありませんが、2025年4月よりLINE等によるマイページ(契約情報等照会システム)の運用を開始したことから、個人の契約情報をLINE等で確認できるようになりました。電子媒体を通じて直接お客さまへ、より迅速に情報発信を行うことができます。

このようにSNSと対面によるアフターフォローを並行して取り組むことによって、お客さまの満足度を高めていきたいと考えています。そのためにも、まずはLINE等の登録者を増やすこと。その施策として、①郵便局に訪問した際にLINE登録チラシの配布、②更新案内通知へのチラシの同封、様々な場での周知等にも積極的に取り組みたいと考えています。